

結 果 の 概 要

1 世帯の状況

(1) 世帯構成の変化

この 19 年間で、「夫婦のみの世帯」の割合は増加、「三世帯世帯」、「親なし子ありの世帯」の割合は減少

第1回調査(2005(平成 17)年)から 19 年間の世帯構成の変化をみると、「夫婦のみの世帯」は、第1回 21.3%から第 20 回 48.0%と増加している。一方、「三世帯世帯」は、第1回 22.4%から第 20 回 9.5%、「親なし子ありの世帯」は、第1回 39.7%から第 20 回 22.9%と減少している。(図1)

また、第1回の世帯構成別に第 20 回の世帯構成をみると、「夫婦のみの世帯」に変化した割合は、「親なし子ありの世帯」が 46.7%、「親あり子なしの世帯」が 45.5%と高くなっている(表1)。

図1 第1回調査からの世帯構成の変化

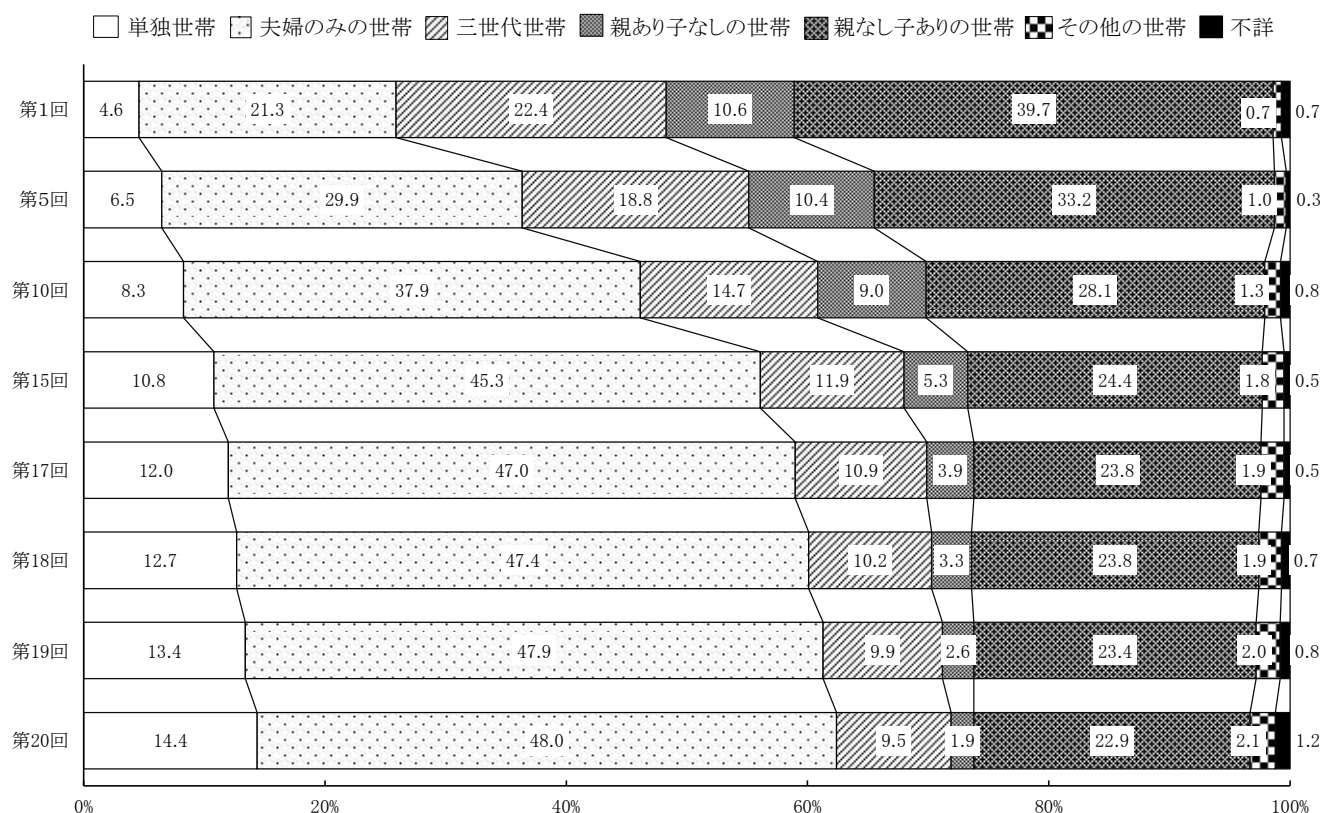


表1 第1回の世帯構成別にみた第 20 回の世帯構成

(単位: %)

（単位：％）

		第20回の世帯構成							
		総数		単独世帯	夫婦のみの世帯	三世帯世帯	親あり子なしの世帯	親なし子ありの世帯	その他の世帯
第1回の世帯構成	総数	(100.0)	100.0	14.4	48.0	9.5	1.9	22.9	2.1
	単独世帯	(4.6)	100.0	72.1	13.4	3.5	0.1	6.6	3.5
	夫婦のみの世帯	(21.3)	100.0	12.9	72.3	4.4	0.8	7.5	1.1
	三世帯世帯	(22.4)	100.0	6.3	36.6	21.8	3.7	28.9	1.4
	親あり子なしの世帯	(10.6)	100.0	27.4	45.5	5.7	7.0	7.7	6.2
	親なし子ありの世帯	(39.7)	100.0	9.2	46.7	7.1	0.4	34.3	1.0
	その他の世帯	(0.7)	100.0	24.3	24.3	3.6	－	2.7	43.2

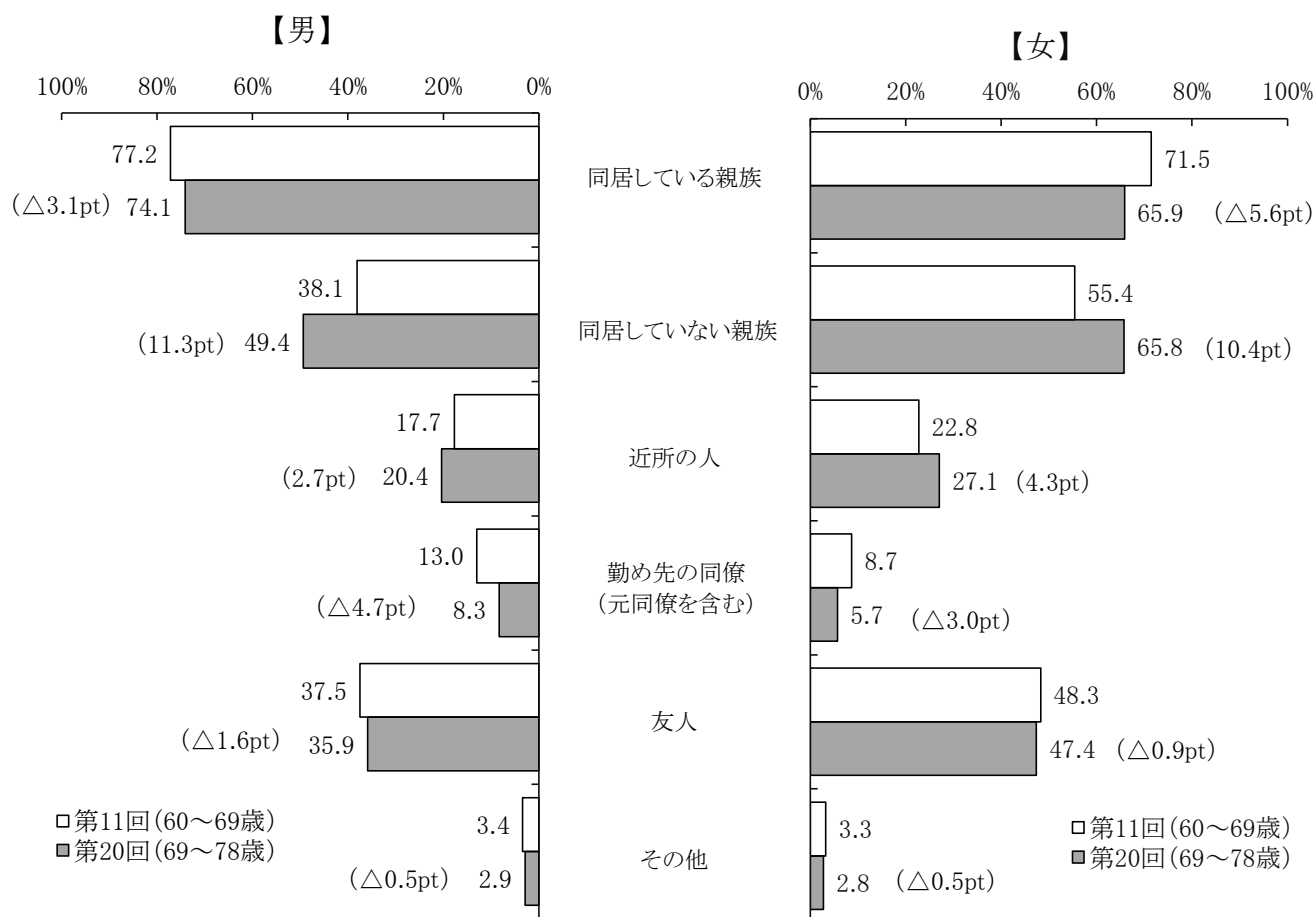
注：総数には第 1 回及び第 20 回の世帯構成の不詳を含む。

(2) 日頃から頼りにしている者

第 20 回(69～78 歳)調査での日頃から頼りにしている者は第 11 回(60～69 歳)調査と比べて男女ともに「同居していない親族」で最も差が大きい

日頃から頼りにしている者を、比較可能な第 11 回と第 20 回とで比較すると、男では、「同居していない親族」が 11.3 ポイント上昇し、「勤め先の同僚(元同僚を含む)」が 4.7 ポイント低下している。一方、女では、「同居していない親族」が 10.4 ポイント上昇し、「同居している親族」が 5.6 ポイント低下している。(図2)

図2 第 11 回(60～69 歳)と第 20 回(69～78 歳)の日頃から頼りにしている者(複数回答)



注：1) 第 11 回及び第 20 回で日頃から頼りにしている者に回答のあった者を 100 としたときの割合である。

2) () の数値は、日頃から頼りにしている者の割合における第 20 回と第 11 回の差(「第 20 回」－「第 11 回」)である。